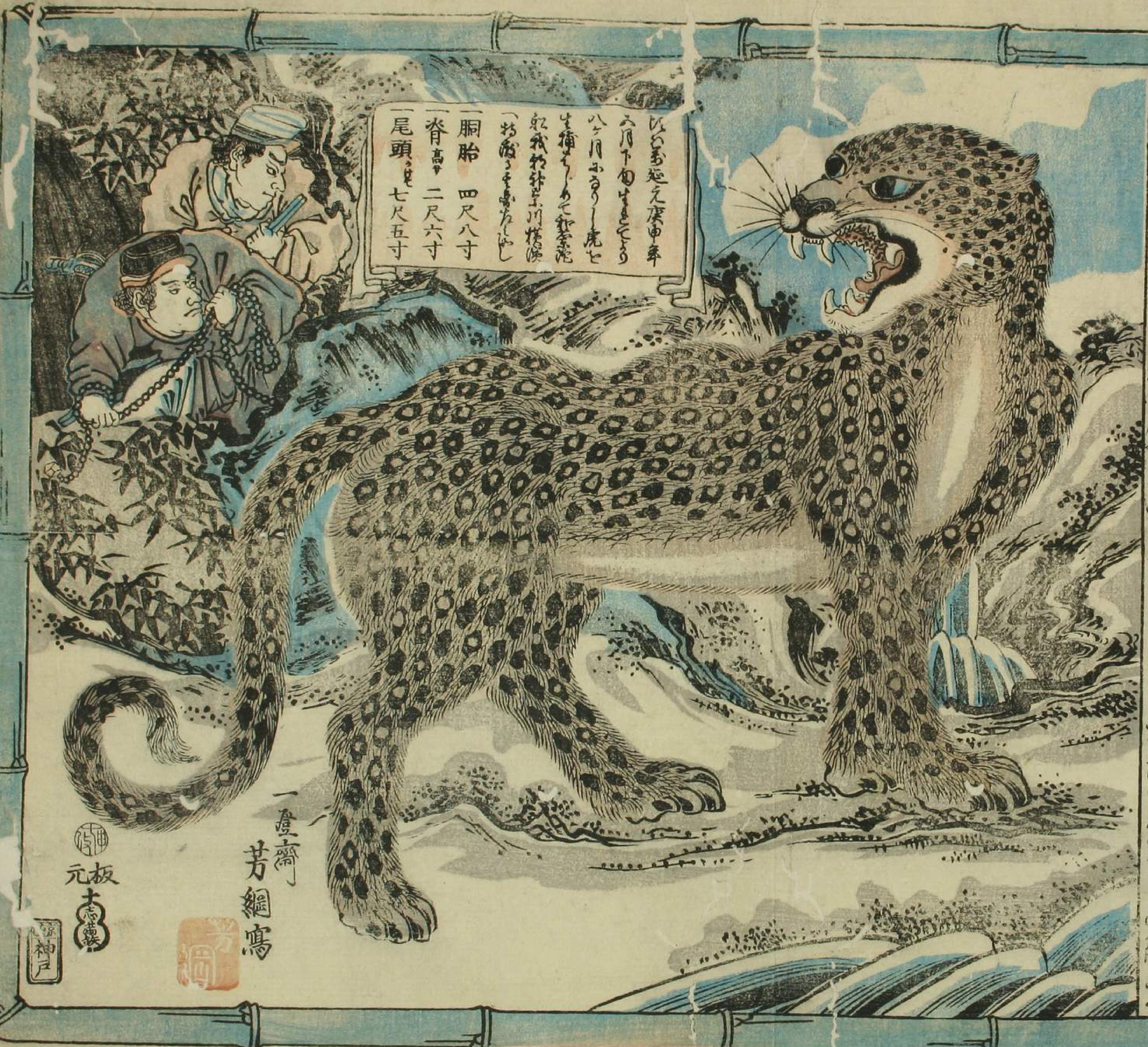
來ル七月上旬より於西両國廣小路ニて御覧ニ入れ



此度萬延元庚申年
六月下旬生まれより
八ヶ月ぶりにて虎を
生捕りしめて和蘭
船我邦神奈川横濱
へ渡りし[illegible]

一胴胎　四尺八寸
一脊高サ　二尺六寸
一尾頭まで　七尺五寸

一今や太平の御代のありがたさハ唐よりして四夷八蠻の人物を見り香木名獣を眼前に見る
されど當君龍虎と云ふハ画或ハのみにて正しく生虎ハ大唐天竺にも深山幽谷を栖と為し容易く求め得ざる獣の類を
常に旦嘯く天を翔る類を白眼時ハ定める猛威ありて[illegible]山中にて出逢ば必命を失ふべけれバ百獣の
司の虎ハ備り風を起し龍吟すれバ雲を起す虎を濵て大蟲と曰又虎と曰和蘭にてタイガと云皇國
にてハ虎を登良と訓寅の刻ハ陽氣發動して始めて七ツ時より又目ふさりて六ツ時之故に下度られさる君子運
[illegible]を一年七難百歳して七福を生じ惡魔邪氣を退け婦人ハ月みちて子安く平産疑ひなし小児も
疱瘡もかるく一切悪氣おそれいるところに御覧ハ猶以豹毛虎ハ万國諸州ニ於て稀なる事夫
獣まで完運福寿を守る事神明の如し今般和蘭セキダイと申高岳にて生捕神奈川横濱へ
渡せしハ八ヶ月なれども其勢獅子犀水牛をも喰ふの益あり依て御覧且つ諸賢君の[illegible]上

一登齋
芳綱寫
芳綱

板元
神戸
申改